

令和5年度 射水市健康づくり推進協議会会議録

- 1 開催日時 令和5年10月12日（木）午後1時30分～2時45分
- 2 開催場所 射水市役所 3階 302・303会議室
- 3 出席者 委員 野澤委員、石黒委員、石坂委員、板山委員、稲田委員、櫻野委員
島多委員、酢谷委員、竹苗委員、田村委員、中田委員、成瀬委員
三上委員、森田委員
欠席2名（尾上委員、櫻田委員）

4 議題及び会議の結果

(1) 令和5年度保健事業の概要について

母子保健推進費、がん対策推進費、健康づくり推進費、予防接種費等11事業について新規・拡充事業を中心に説明した。

(2) 第2次射水市健康増進プラン取組の進捗状況について

目標の現状値について、基本目標である健康寿命は延伸していること、3つの基本的方向の14分野について報告した。

取組状況では、庁内関係各課の令和4年度の事業実績、令和5年度の実施状況を報告した。

(3) 第3次射水市健康増進プラン策定について

- ① 計画期間について、令和7年度から18年度までの12年間で、計画開始後6年目（令和12年度）に中間評価を行う。「健康づくり」と「こころの健康」を総合的に推進するため、「射水市いのちを支える自殺対策推進計画」との整合性を図り、健康増進プランと一体化することを説明した。
- ② 今後のスケジュールについて、令和5年12月に市民向け、健康づくりボランティア向けの2種類のアンケート調査を行い、来年度は協議会を3回実施する予定であることを説明した。
- ③ アンケート調査の内容について、市民向けアンケート、健康づくりボランティア向けのアンケートの内容を説明した。

(4) 意見交換（主な発言は以下のとおり）

【委員】総合型地域スポーツクラブでは、コロナ禍に運動習慣が途切れ、筋力低下にて再加入できない方が多くみられ、加入率が低下している。フレイル、サルコペニア対策が必要。

【事務局】ヘルスボランティアは運動の普及啓発に努めており、10分ほどで歩けるウォーキングマップを作成した。ホームページや公式LINE等でも配信し、身近なウォーキング面から対策を進めていきたい。

【委員】第3次健康増進プランの評価時期について、中間評価が6年後は長いため、3年後に一度評価した方が良いのではないか。

【事務局】国は、健康増進の効果は評価に一定の期間を要することから、計画を12年としており、市も合わせた。評価は、毎年健康づくり推進協議会で指標の状況について報告していく。6年後に中間評価を行い、世の中の状況の変化も含めて検討していきたい。

【委員】自殺死亡率に関する射水市の現状は、国や県に比べて高い。低下が見られない場合は、さらに対策をした方がよい。

【委員】学校でのコロナ禍を経た影響は、人との関わり方が上手くできない、こもってしまうなどの「こころの健康」の問題が出てきていると感じている。こころの健康の正しい知識やストレス対処法、専門機関との連携に力を入れていきたい。

【委員】「いみずっこBabyの会」は、色々と趣向を凝らした交流会で良い。妊娠や出産の不安な思いしている方々への支援になる。ますます発展できれば良いと思う。

【委員】最近の子供たちは口呼吸が増えているため、口から菌が入り直接感染が起きやすい問題がある。口を閉じて嘔むことの練習が大切で、離乳食教室、乳幼児健診、育児相談等で栄養士、歯科衛生士等が中心となり対応していく。

(5) 閉会